

## 平成 28 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告

（平成 29 年 2 月）

報告者氏名・所属	橋本忠和（函館校 地域教育専攻 附属函館幼稚園園長）		
研究プロジェクトの名称	創造的な学習ツールとしてタブレットパソコンを活用した幼小中を貫くアクティブラーニングのカリキュラム及び題材開発の研究－教員・学生のICTを活かす教職機能強化を図りながら－		
プロジェクト担当者（氏名・所属・職） ※代表者に●を付すこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 橋本忠和（附属幼稚園長）・山口好和（地域教育）</li> <li>・新開谷央（附属小校長）・溝口仁志（附属小教諭）</li> <li>・金光秀雄（附属中校長）・郡司直孝（附属中教諭）</li> <li>・村岡圭介（附属幼教諭）・熊谷光洋（附属幼非常勤）</li> </ul>		
研究プロジェクトの概要等			
創造的な学習ツール（情報共有・映像情報処理・ムービー・遠隔操作・テレビ会議等）としてタブレットパソコンを活用した、幼児の表現遊び、児童・生徒の教科学習及び社会に開かれた問題解決・社会貢献等のアクティブラーニングに関して幼小中の発達段階に則して系統的なカリキュラム及び題材開発を行う。そして、幼小中・大学と附属の教員・学生がチームとなり共同で研究プロジェクトを推進することにより、相互の結びつきを強固なものにすると共に、教員・学生のICTを活かす教職機能強化を図る。			
進捗度	1	←番号を記入 1.順調に進んでいる 2.ほぼ順調に進んでいる 3.やや遅れ気味 4.遅れ気味	
（進捗度が3若しくは4の場合、問題点等の理由を記入願います。）			
研究実績の概要			
<p>第1回、研究推進及び研修会を9月に行い、予算配分・支出計画・決算方法等と共に2月の授業力向上セミナー等の異校種の授業交流が出来る場に向けての各校の取り組みについて情報交換・共有を図る。</p> <p>また、金光秀雄（中学校校長：システム設計入門、情報基礎特論等担当）より、ICT教育及びプログラミング教育の特徴・現状を学ぶと共に「タブレットを活用したプログラミング教育の幼・小・中・特支のカリキュラム及び題材開発」をテーマとする科研申請の内容を協議した。</p> <p>2月には2回目の研究推進及び研修会を行い、初年度の本プロジェクトに関わる各校の取り組み（参加研修会等の情報）や購入教材等に関する情報交流会を開く。また、新学習指導要領等に於けるプログラム教育に関する位置づけを金光秀雄や橋本忠和（幼稚園園長：教育方法・内容、美術教育）より聞いた。</p> <p>さらに、ICTを活用しアクティブラーニングを軸とした幼小中を貫くカリキュラム構築の方向性について先進事例や附属中学校のカリキュラム構築システム（エクセル活用）を参照に山口好和（教育学、教育工学等担当）准教授の助言の元、検討を行った。</p> <p>そして、2月21日には授業力向上セミナーにおいてタブレットパソコンを活用した小学校国語科の授業「理由をはっきりさせて、進行にしたがって話し合おう：昔話法廷」（溝口仁志教諭）と中学校理科の授業「身の回りの物質」（金子智和教諭）が公開された。さらに同セミナーの研究報告では、「ICT教育における小中連携について」として、今年度の小中のICT教育の取り組みを報告すると共に、小中を貫いた「情報モラル指導カリキュラム表」を提案した。</p> <p>また、幼稚園では、5歳児を対象として熊谷光洋を講師にタブレットやソフトの活用をゲーム感覚で学ぶ授業を定期的実施した。また、小学校の生活科との接続を意識してタブレットを活用した保育（5歳児が撮影した映像を加工して「秋の宝」を探すクイズ動画を作り遊ぶ）を研究会で公開した。そして、その記録をポスターにまとめ授業力向上セミナーの会場で掲示した。</p>			

今後の研究プロジェクトの推進計画

プログラミング教育を視野に入れながら、以下の幼・小・中を貫くICTのカリキュラムの構築を推進する。

- ・ 情報手段の基本操作のできる異校種接続カリキュラムの構築
- ・ コンピュータに意図した処理が出来る論理的思考力を育成する異校種接続指導カリキュラムの構築

(カリキュラムは、今までのアクティブラーニングの研究実践の成果を再構成して位置づける)

また、現在ある小中接続した情報モラルの指導モデルカリキュラムに幼児に身につけさせる内容を位置づける。

さらに、タブレット数やネットワーク環境の整備を図る

そして、幼小中接続カリキュラム

に基づき実践事例の開発や評価法の研究を行い、附属教員及び学生の教職機能強化を図る。

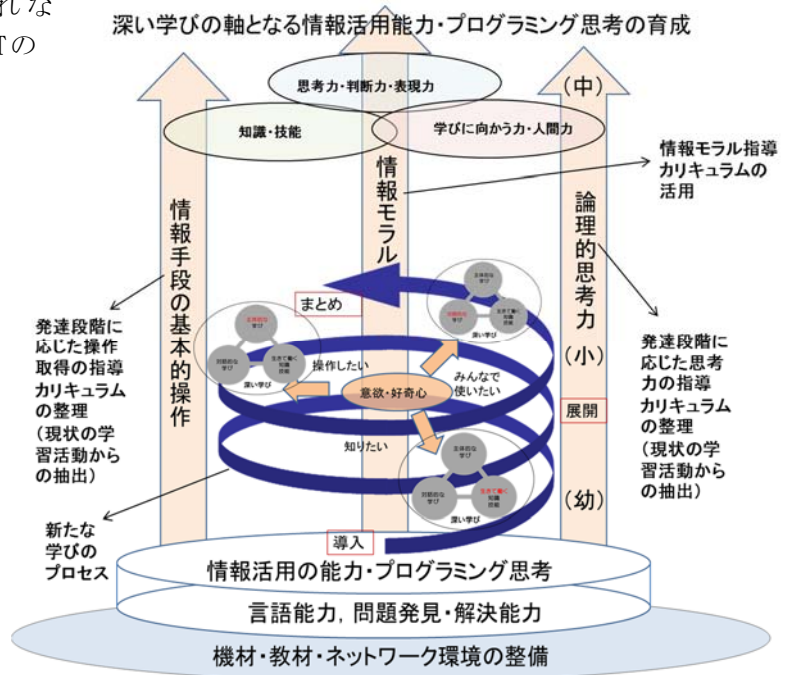


図1 今後の研究プロジェクトの構想図

教育現場や地域で活用可能な成果等

- ・ (幼) 小学校への接続を意識した表現領域・環境領域の幼小接続カリキュラム
- ・ (小・中) 情報モラル指導モデルカリキュラム表

研究成果の公表実績

【著書】 (著者、書名、出版社、発行年・・等)

【学術論文】

藤谷貴代・橋本忠和、「アプローチカリキュラムの現状と課題についての一考察ー埼玉県草加市・大分県・神奈川県横浜市の先行事例の分析を通してー：北海道教育大学紀要第67号第2号教育科学編」, 北海道教育大学, 2017年3月(予定)

【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】

- ・ 「平成28年度 教育研究大会」, 北海道教育大学附属函館小学校, 2016年7月
- ・ 「平成28年度 研究大会」, 北海道教育大学附属函館幼稚園, 2016年10月
- ・ 「平成28年度北海道教育大学附属函館小学校(4校園)授業力向上セミナー」, 2017年2月

【テキスト、報告書、研修資料等】

- ・ 「平成28年度教育研究大会指導案集：初等教育におけるアクティブラーニングの実践」, 北海道教育大学附属函館小学校, 2016年7月
- ・ 「平成28年授業力向上セミナー資料」北海道教育大学附属函館小学校・中学校, 2017年2月
- ・ 「平成28年度北海道教育大学附属函館幼稚園, 教育研究紀要：円滑な幼小接続カリキュラムの制作(3年目)」, 北海道教育大学附属函館幼稚園, 2017年3月

添付資料

- ・ 附属幼稚園研究概要プレゼン
- ・ 授業力向上セミナーの小中の研究報告プレゼン
- ・ 平成28年度 附属函館幼稚園研究大会プレゼン

ダウンロード可能なドキュメント

藤谷貴代・橋本忠和「アプローチカリキュラムの現状と課題についての一考察ー埼玉県草加市・大分県・神奈川県横浜市の先行事例の分析を通してー：北海道教育大学紀要第67号第2号教育科学編」北海道教育大学の関連HPより

関連URL	<ul style="list-style-type: none"><li>• 国立大学法人，北海道教育大学附属函館幼稚園 HP <a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_kind/">http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_kind/</a></li><li>• 国立大学法人，北海道教育大学附属函館小学校 HP <a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_syo/">http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_syo/</a></li><li>• 国立大学法人，北海道教育大学附属函館中学校 HP <a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_chu/">http://www.hokkyodai.ac.jp/fuzoku_hak_chu/</a></li></ul>
問い合わせ先	氏 名：橋本忠和（北海道教育大学函館校，教授） 電 話：0138-44-4319 E-mail：hashimoto.tadakazu@h.hokkyodai.ac.jp